

調査報告第七十七號

(昭和五年四月十日)

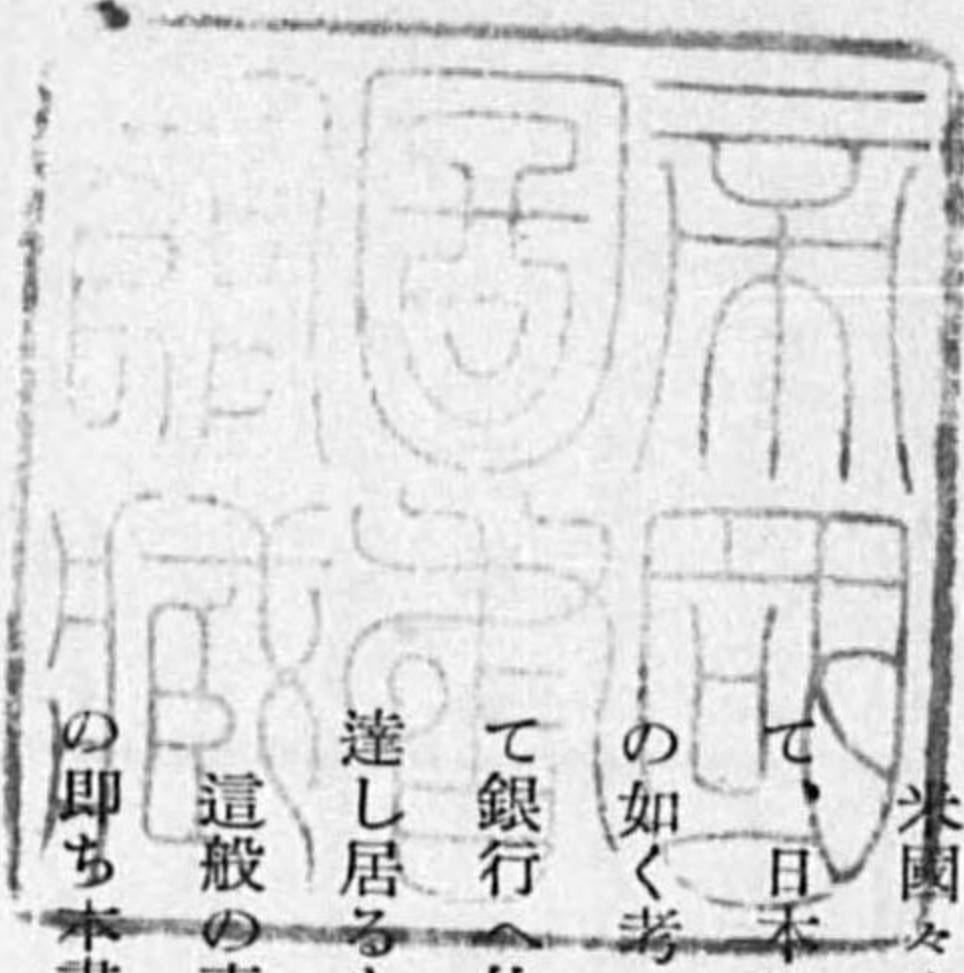
米國に於ける國內商取引の
決濟方法と其金融

横濱正金銀行調査課

始



14.5-29



序

米國々内商業取引が如何に金融され居るやと言ふ事は相當研究に値する問題にして、日本に於ては米國の國內商業の大部分は商業手形の割引により金融され居るかの如く考へられ居る様子なれども、夫れ程商業手形は米國に於て發達し居らず、却て銀行へ約束手形を入れて金融を得る場合多く、商業手形割引は寧ろ日本の方が發達し居るものと思はる。

這般の事情を明にする爲、其研究を當店員竹下松次郎氏に依頼し出來上りたるもの即ち本書なり。問題相當廣汎に亘り然も資とすべき材料多からず、從て本書も未だ完全を期し難しと雖、意義ある研究の端を開くものとして茲に推舉するものなり。

昭和四年十二月

横濱正金銀行紐育支店

發行所寄贈本



發行所 岩波書店

米國に於ける國內商取引の決済方法と其金融

紐育支店書記 竹下松次郎稿

本小稿の目的は、専ら國內商業取引なる範圍内に於ける決済方法と其金融關係の概述に止るものであるから、外國貿易の Finance を主として居る Bankers' Acceptance の事は、含まない。

扱、國內商取引の決済方法としては

- 一、現金決済
- 二、Open Book a/c
- 三、商業手形（其特別なものとして Trade Acceptance）

の三種に、大別し得らるゝと思ふ。その内、現金決済の場合は別に、説明を要しない。故に、第一節に於ては Book a/c の研究、第二節に商業手形並に Trade Acceptance の研究を概述し、第三節に於て、若干の商品に就いて其實際を観察した。固より、全般に亘つて頗る蕪雜なることは、未だ尙研究の至らざる所以である。

第一節 Open Book a/c

次節に述べんとする商業手形乃至 Trade Acceptance に依る決済方法が、益々普遍されて行くに拘らず今日に於て

も、猶依然として各商取引に實行せられつゝある方法は、此の Open Book a/c であつて、普通に “Receivables” と稱せられて居るものである。

商品の賣手は買手に對し a/c を開き、賣却せる商品の價格毎に其 a/c を Charge する。其規約の内容は、商品の種類によつて同一でないが、普通其期限を十日乃至九十日とするもので、例へば送り狀面に “2/10. 1/30. Net 60” と記載ある場合は、若し Bill が十日以内に支拂はるれば 2%、卅日以内なれば 1%、六十日なれば割引なし、而して Bill は六十日を以て満期とする云ふ意味である。買手は勿論割引の特典を得むとして、出来る丈 Cash payment を爲すべく努める譯で、或場合は自己の unsecured note を出して、自己の銀行或は一般市場から金を借りてさへ、その支拂に充てることがある。無論、銀行からの六十日間の借金に對する利息よりも、Cash discount の特典を享ける方が算盤上、利益なる事を前提としてゝはあるけれど。(今日の金利關係ではかゝる場合は、考へられないかも知れぬ)。只この Cash discount を享けると云ふ事は、單に利益上の考からばかりでは無く何れの商社も、之を以つて一つの誇と爲して居るものである。或る書の一節に次の様な文句が見出さるゝが、之はその邊の事を語るものではないだらうか。

“Well managed concerns endeavour to take cash discounts considering them not only a source of profit but a badge of honour”

さて反對に、賣手より觀た Open Book a/c はどうであらうか。賣手の信用が未だ商業手形によつて一般市場から融通を享くるに至らず、又、他の方法に依る融通の途も、盡して仕舞つた際に於て、此の Book a/c を擔保として銀行

から借金をすることが出来る。即ち、商品を賣渡した其代りに Shipping receipt を得、之に送り狀並に assignment of account を提供して、銀行から資金の融通を受けることが出来る。普通送り狀面の 80% を限度として、之に對し當時の利率に據る利息と、その他に千弗に對し五弗の service charge を支拂はねばならぬ。だから、勿論借金としても可成 Cost の高いものに付く譯になる。この場合借金の方法に次の二種類がある。

(1) Notification Plan

之は賣手が a/c を assign して、銀行から借金した事實を買手の方へ通告し置くもので、従つて其商品の代金は貸付銀行に直接に拂ひ込まれるものである。

(1) non-Notification Plan

Book a/c の Assignment を買手側に通告せず、賣手が商品の代金を取立てたる上、之を銀行へ入れて借用辨濟を爲す方法である。

借用を爲すものゝ立場より謂へば、前者の方法に依る時は自己の遣り繰りを得意先に曝露するものであるから、後者に依るを固より便宜とする。乍併、之を銀行より觀れば後者により多くの危険を含むこと明なるが故に、此方法に依つて貸付を爲す場合は、單に assignment of a/c のみならず、尙其の他に bond of indemnity を徴收して危険の軽減を計るのを常とする。

此處に一つの面白き事實は、今日に於て紡績業者の間には嚴然として前者 Notification Plan に依るの慣習を存し、而かも聊かも互の信用を毀損せず、大部分の紡績業者は Factor (調査報告第七十五號参照) に對する a/c の notice

of assignment を送り状と共に印刷しあると云ふ事である。

乍併、孰れの方法に依ると雖も、此種 Book a/c 貸付は銀行よりして決して安全なる融通方法とは云ひ難い。現に、一九二〇—一九二二年の間に於ては、此の貸倒れに由る銀行の損失も些少ならざりし筈である。

されば結局、如此貸付に對する報酬は勢ひ高からざるを得ない。併し、又この方法に依る借入金爲す商社の多くは、他方に於て商品の現金賣却を爲しつゝあるものなることによつて、其の高き Cost は相殺し得らるゝ道理である。

銀行に於て、Book a/c の assignment に對して貸付を爲すに就ては、特殊の知識並に材料を基礎とした別個の Department を必要とする。或銀行の如きは、かゝる貸付は Proper Banking Procedure に含まるべきものに非ずとなし、一切之を行はざる向もある相である。如此傾向は必然的に此種貸付を専門に取扱ふ特別の金融業者の發生を促すに至つた。即ち今日の Credit Company は是である。而して此等の Credit Company は各貸付先毎に、其信用状態に就て Dun Bradstreet に據るは勿論、其他銀行及關係商社を通じ詳細なる調査報告の file を有し、猶貸付先との協約の如き、其内容頗る嚴格且つ廣汎なるものがある。

數例を擧げて見ると

- 一、Credit Company の監査人は、何時にても貸付先の帳簿を検閲するの權利を有す
- 一、貸付先は小切手等を接受せる時直に之を Credit Company へ交付すべきこと
- 一、assigned a/c へ關係せる仕事に就つては、Credit Company に於て之に干與遂行の權利を有す、等の如きものである。

然らば今日、全國に亘つての Open book a/c の frozen credit の總計は幾何なりやと謂ふに、正確な統計は勿論得らるべくも無しが、"Acceptances, Trade & Bankers" の著者 Park Mathewson 氏に據れば、大抵四十億弗位ならむとのことである。但し、その内どの位銀行乃至 Credit Company の擔保として存在し居るやは突き止め難き處であるが、多くの商業の内、材木、毛皮、生糸、農業器具、ピアノの如きは、此の Book a/c に依るもの多しとの由である。

結局、商業手形又は Trade Acceptance の如き他の方法が漸次普及せられつゝある今日に於て、猶此の古き傳統的方法が依然として國內商業取引の決済に大いなる勢力を持つて居ると云ふ事實を、茲に知り得る次第である。

第二節 商業手形及其特殊形式としての

Trade Acceptance の研究

商業手形としての最初の發生である Single name paper の起源は、Civil war に遡ることが出来る。所謂 green-back disturbance (一八六二年政府により發行された最初の Legal tender notes なり。紙幣の裏面が green によりこの名あり、不換紙幣の爲め經濟界を亂したもの) の如く不渡を避けむが爲に、商品の賣手は極力現金拂を歓迎した結果、買手は其資金調達爲に自己の銀行以外、一般市場からの融通を受けむとして茲に約束手形を賣出すに至つたことに由るのである。かくて其間 note broker なる仲介業者を生じて、漸次一般化せられたもので、最初の市場は矢張り紐育の dry goods 商人が Mill に貸付を爲す資金を得むとして、Mill 或は自己振出の約束手形を賣出したことに始

り、次でフィラデルフィア、ボストン等の他の都市にも市場が展開されて行く様になつた。

Two name paper は商品の賣手並に買手の兩者によつて署名されたものであるから、固より手形自体の信用は増すことであらうが、往々にして單なる融通手形たる場合に於て、必しも然りとは限らない。本年六月末に於ける商業手形の總計は二億七千三百萬弗に達して居る。

次に Trade Acceptance であるが、之は結局前記 Two name paper の特殊の形式を有するもので、商品の賣手によつて作成せられ、買手が之に引受を爲したるものである。只 T/a の特徴は其が商品の賣却又は積出と同時に、其商品に對する決済に充てると云ふ目的にのみ作成せられ、確定せる支拂期日を有し、米國々内に於て支拂はるべきものなりとするに在る。従つて T/a は原則として、普通の Note の如く Renew 或は延期を許さざる性質を有するものであらねばならぬ。

T/a は一九一四年以前の米國金融界には存在せざりしもので、之は一に Open discount market 無かりしに由るものである。(尤も南北戦争以前に於ては、T/a なるものが存在したと云ふ人もあるけれど、勿論問題とする程のものであるまじ。))

T/a が取引決済方法として、前述せる Open book a/c に比し優れりと思はるゝ點は、

- 一、Credit period の短縮
- 一、取立の確實性
- 一、資金運用の増加

一、種々係争の除去

一、純然たる Liquid Paper たること

而して、準備銀行に於ても右の如き T/a の得點を認め、之を奨励せむが爲に一九一五年七月十五日の regulation 中、T/a を Commercial Paper 中の一箇の distinct class として之を認め、準備局にては之が再割引に preferential rate を與ふべきことを、是認したのであつた。その結果、一九一五年七月廿二日に於て、紐育の準備銀行は先づ其急先鋒として九十日拂の T/a に對して特別率を與へた。かくて、他の準備銀行に於ても、漸次之に従ふものが出來た。通例 1/2% 乃至 1 1/2% 位、他の商業手形に比し低率を與へた。にも拘らず T/a は期待した程度に發達を見せなかつた。即ち、歐洲戦争直前迄に準備銀行全体で割引した T/a の總額に、僅に \$ 9,364,462 に過ぎないと云ふ有様であつた。而かも此の T/a に對して特別率を與へると云ふ準備銀行の政策に對しても、非難の聲が甚だ大きかつたのである。

その理由は結局、商業手形として T/a が Prime piece であることを識別することは、甚だ困難な問題となると云ふことであつた。而かも當初に於ては、寧ろ T/a は商品の weak buyer に向つて振出さるゝものゝ方が多く、或論者の如き、T/a の 90% は取立を強要せざるべからざる向に對して振出さるゝものであると謂ひ、苟も商業取引に發生する手形なれば、寧ろ信用確實なる買手によつて發行せられたる約束手形の、之に優るものなることを擧げた、此等の反對に鑑みてか、準備局に於ても遂に一九一九年十二月卅日、此の T/a に特別率を與ふるといふことは廢止することに決するに至つた。

事情如此して American Acceptance Council (一九一九年設立) の如き、大いに宣傳奨励に努力しつゝあるに不拘、

T/a せ Bank Acceptance の異常なる發達に比較して、今日に至る迄頗る遅々たる程度に止つて居る。試に一九一八年から一九二七年迄の十年間に於ける準備銀行の各年末の再割 T/a 持高を見ると、

1918	16,000 千円
1919	33,700
1920	21,400
1921	10,000
1922	4,800
1923	7,000
1924	3,400
1925	3,400
1926	2,800
1927	1,400 (Commercial Year Book, U.S.A.)

尙右と同期間に於ける準備銀行の各年末に於ける再割商業手形 (Agricultural Paper をも含む) 持高を見るに

1918	265,000 千円
1919	627,000
1920	1,521,500

1921	631,000
1922	270,800
1923	355,800
1924	102,100
1925	177,300
1926	171,000
1927	88,000 (商業回書に據る)

今右の二表を對照することにより、如何に T/a の商業手形に對する比率の貧弱なるかを、如實に知ることが出来る。T/a の發達何故にかく不満足なるものなりやの理由としては、前述の如く準備銀行が實質的に援助を中止したること
が其普及上の大なる障害となりし譯であるが、尙左の如き缺陷を擧げることが出来る。

- 一、T/a は原則として Renew せられざるものなるに、往々 Renew せられ而かも銀行に對して current paper たるが如く見せ掛くること
- 一、既に overdue となれる勘定に對して振出さるゝこと
- 一、機械、固定品の如き capital investment に對しても振出さるゝこと
- 一、勞役に對する報酬、即ち賃銀、給料、手數料等に對しても振出さるゝこと

此の如きは凡て T/a の本質と相容れざるものなるに不拘、銀行に於ては屢々之に欺瞞せらるゝの危險を有するので

ある。

或る Discount Corporation の幹部の一人が嘗て American Bankers' Association に於て發表して曰く、

“The fact that T/a is superior to Open book a/c does not mean that it can be negotiated in unlimited volume by the holder. When acceptors' names are unknown to the banker, he, the banker, will depend entirely upon the offerer and will limit the volume accordingly—just the same as if applications were made for regular loan. The use of T/a will make collection more certain but will not reduce the responsibility of the credit man either in the bank or in the business house”云。

殊に、卸商人間に於ける競争は顧客をして T/a に署名せしむることに依つて、不快な感を抱かしむるより通常の cash discount system を提供する方を得策なりとする傾向、猶今日に於て根強きものあるに於ては、T/a があらゆる商取引上一般的に普及することは其實現前途尙程遠しと謂はねばならぬであらう。

以上にて、國內商業取引の決済方法を概述した積りであるが、次に數種商品に就いて其實際を観やう。

第三節 若干商品取引に於ける實際

第一、自動車

今日、株式市場にても花形の一つである自動車工業の最近の發展振は、全く目醒ましいものであるが、自動車製造者と一般買手の中間に居る販賣業者は如何に其販賣迄の金融を付けるであらうか。原則として、製造者は製品販賣に對す

る危険を負担しない。自動車の受渡は大抵現金を以てする。そこで販賣業者はどうしても銀行の援助を得なければならぬ。處が又銀行から謂ふと餘り危険な融通は、之を避けねばならない。依つて次の様な方法が普通に實行されるのである。

F. O. B. 工場地で自動車賣渡されると、製造者は其 Shipment に對し At sight の手形 B/L を付けて銀行に送る。銀行は手形接受と同時に直に其旨を得意先なる販賣業者に通告する。是に販賣業者は各自動車一臺に就いて Collateral Note (署名) 且同時に Trust Receipt を正副作成し、其表面に自動車は銀行よりの借入金により購入せるものなる事、其の Title は銀行に在る事、尙自動車は一切 demonstration に使用せざる事(若し之の爲に使用する事、自動車は直に所謂 used car class になつて仕舞う故である)、保険を付する事、Trust Receipt の Release 以外には絶対に他に賣却せざる事等を、誓約する。其 Trust Receipt に對し、銀行は大体 80% の貸付を爲すものである。尤も銀行に於ては自動車の type 市場特に second hand market 等を、貸付先なる販賣業者の信用状態と共に充分注意調査しつゝ居らねばならぬ。要するに、自動車金融の特徴は Book a/c に依らずして Bank Credit が用ひられつゝあることである。

第二、肉 罐 詰 業

最近に於ける斯業に實際投資せられたる金額(所有並に借入資本を合計して)は、\$ 1,176,483,643 (Representative industries in United State by H. T. Warshaw) である。

元來此事業は家畜の購入を現金にて爲し、製品が市場に賣出さるゝ迄に相當の期間を経過するので、其の金融も仲々

六ヶ敷いものらしい。其金繰政策の巧拙で各會社の立場も随分違つて來るものらしく、要するに何時銀行から如何なる方法に依つて金融を受けるかと云ふことが大きな問題である。金利の安い時に社債による長期の借入を爲すこともあるけれど、大体商業手形に依つて金融を計るのが一般である。普通期限は三ヶ月乃至六ヶ月で殊に各季に入り家畜の到來が多くなる時には、自己の銀行の credit line を極度に使用する關係上、如何しても此方法に依つて一般市場からの融通を受ける外に道がなくなるのである。

第三、生

糸（主として東洋生糸）

賣買が倉庫渡で極められて、送り状日附より十日以内に支拂はるゝもの、之を現金拂として賣買値段より一分五厘引とし、三十日支拂なる時は五厘引とする。而して Open book a/c によるもの、T/a によるもの、全く買手の option によるものであつて、最近生糸取引に於ける T/A 使用は漸次擴大の傾向あるものゝ様である。（早川博士「生糸と其貿易」）

而して賣手は Book T/C の assignment を擔保として、銀行より借入金を爲し、或は T/a を其儘自己の銀行に納入して、輸入生糸の Trust Receipt に對する見返りとすることもある。

第四、棉

花

農夫の金融

以前に於ては Cotton Factor なるものがあり、之が crop に對し貸付を爲し、而して棉花が出廻るに至つて selling agent と爲り、自己の倉庫に之を保管し其の裁量によつて市場に賣放ち貸付を回収すると云ふ仕事を行ふものがあつた

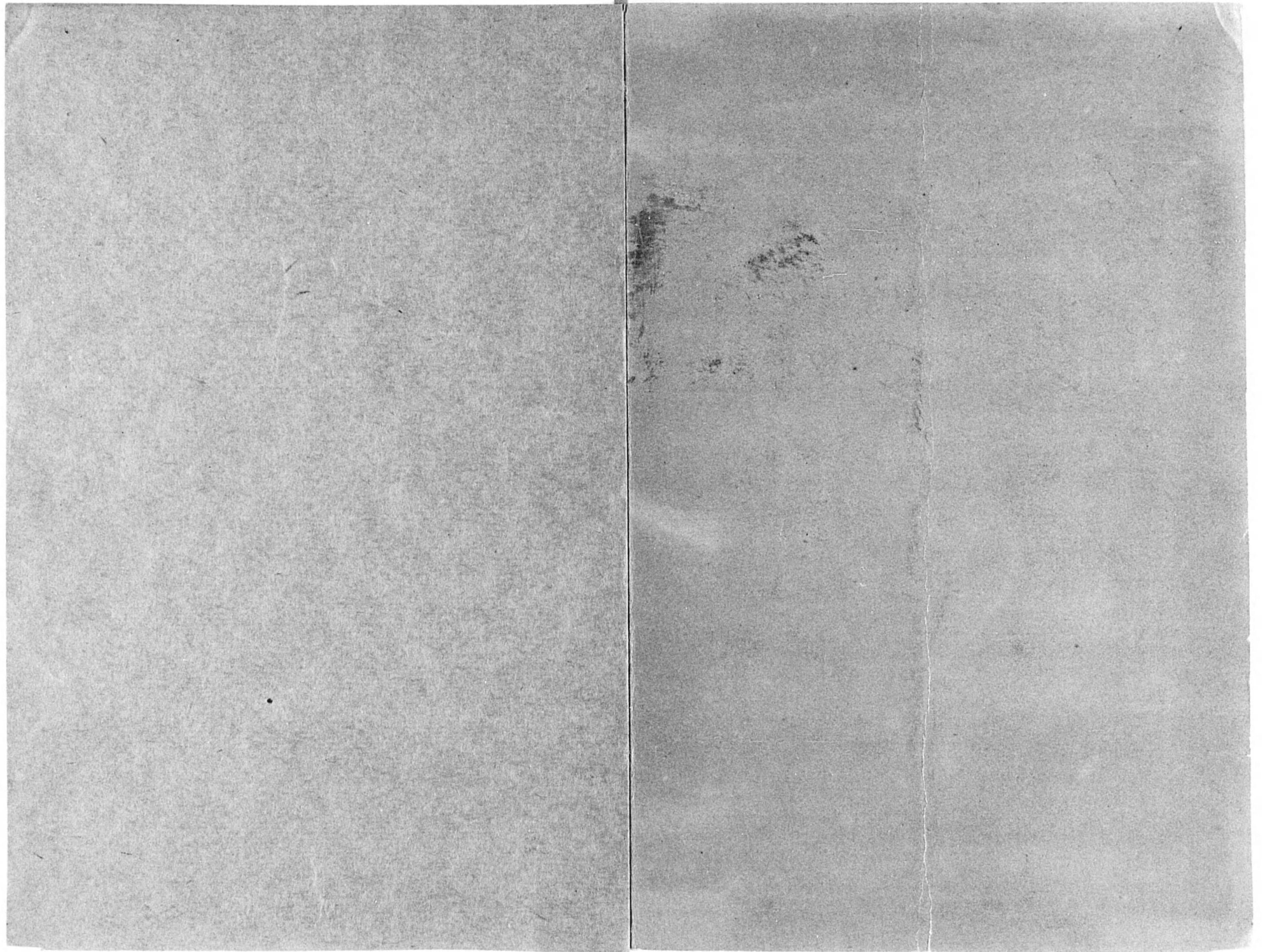
が、今日に於ては最早 Factor は大部分勢力を失ひ、地方銀行が之に代つて採取、輸送に對する資金を融通する様になつた。

買付に對する金融

棉花買付商人の中には、國內 Mili 専門に之を行ふもの、輸出向を兼ねるもの、或は又輸出向のみを行ふものとある。尙最近十年間に大いに活躍しつゝあるもので、Cooperative Marketing Association と謂ふものがある。彼等は、例年二百萬俵位取扱ふと云ふ話である。

棉花買付は、原則として、現金拂で、買付商人は諸公債株券を擔保として、或は倉庫證券を擔保として、銀行から資金の供給を受けるのであるが、季節の盛りに入ると、地方銀行丈では其調達が困難となるので、どうしても中央市場に資金を仰がねばならぬ様になる。即ち、茲に Acceptance Business が發生する。Accepting Bank は、倉庫證券擔保、それに 1% 乃至 2% の引受料を徴し手形の引受をする（手形は大抵、九十日）。如此、手形は中央市場に於て、自由に割引の可能性を有するから、金融上便宜なること當然のことである。

結局 Acceptance と云ふことに依つて、地方と中央市場との間の障壁は全然今日に於て取除かれて仕舞を譯になるのである。



14.5
29

終